

知っていますか?
札幌の冬のこと。

雪と闘う

世界でも稀な豪雪地帯の大都市札幌。でも、通学や出勤時には、除雪が終わっています。これは当たり前のことではありません。一晩に車道5,400km、歩道3,000kmの除雪を終える仕組みと汗!正に雪との闘いがここにあります。

雪学習 NEWS

小学校対象

2016 - 2017年号

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭を対象に、札幌の冬についての話題や知識などの情報を、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。

No.06



除雪センター長に聞きました!

「除雪の仕事は使命感を持ってやっています」

西区北地区除雪センター長

ソリトン・コム(株) 世羅 秀樹 さん

除雪

❏ 除雪の仕事で大変なことは何ですか?



除雪センター長の苦勞は、なんと言ってもダンプトラックや作業員の調整です。2つの例をお話しましょう。まず、シーズンを通してダンプトラックが足りているときと足りないときがあります。ダンプ

トラックが足りなくなるときは、「どのチームに何台配置するか」悩みます。ダンプトラックが少ないチームはどうしても作業に時間がかかるので、より苦勞を掛けることになります。次に、雪が降り続くと、昼に排雪作業して、さらに夜に除雪作業をすることがあります。本当は昼と夜の仕事は別の人をお願いしたいのです。どうしても、足りないときは、同じ人に昼も夜も続けて作業してもらった場合もあります。



❏ 除雪作業員はいつ寝ているのですか?



除雪作業は夜間が基本です。作業員は作業のある日は昼間に寝ますが、作業のない日は夜間に寝る人が多いです。昼間は深い眠りに付きにくいからです。私自身は調整役のため、朝8

時頃に仕事に来て夜遅くに帰宅することが多いです。睡眠時間は平均4~5時間です。



❏ 市民から怒られること、反対に喜ばれることは?



やはり、雪が多いと苦情要望が増えます。時には電話で「すぐ来い!」「今やれ!」と怒鳴られることもあります。“除雪はやって当たり前”という気持ちの人が多く、喜ばれることは少ないです…。です

から、たまに感謝の言葉をいただくともうれしいですね。私たちの仕事は、警察官や消防士と同じです。やる人がいないと市民が困る仕事です。除雪しなければみんなが困りますよね。だからこそ、この仕事にやりがいを感じますし、使命感を持ってやっています!



❏ 除雪の仕事をしていて良かったと思うときは?



夜間に除雪作業を終えた朝、市民の方々が特に問題なく普通に通勤・通学で歩かれていたり、普通に車が通行しているのを見ると、この仕事をしていて良かったな、と思います。



昼間に行くパートナーシップ排雪作業(写真左)などの日に雪が降ると、夜間に新雪除雪(写真右)を出動しなければならず、作業員のやり繰りが難しくなります。昼夜を通して作業に出かけることも。





なるほど!札幌の冬

～朝の会で使える小ネタ～
実物投影機で大きく映そう!!



除雪機械の種類

札幌市が除雪する道路は車道だけで約5,400km。これは札幌から沖縄の石垣島を往復する距離に相当します。そのほかに約3,000kmの歩道も除雪します。この長い距離の道路を効率的に除雪するために、作業内容に応じた様々な種類の除雪機械を使用しています。

除雪グレーダ



幅の広い道路で使用する機械で、車体中央部に付いているブレードで雪を道路脇に寄せたり、凸凹になった路面を削って平らにします。

全長L=9.765m、全幅W=2.42m、全高H=3.41m 価格 約3,200万円

タイヤショベル



先端に装着されたブローは折り曲げることが出来るため、片側だけではなく、両側に雪を寄せることが出来ます。小回りが利くため交差点やバスベイ、狭い道路や障害物の多い住宅街などあらゆる場所で活躍します。

全長L=7.98m、全幅W=3.24、全高H=3.48m 価格 約1,800万円

大型ロータリ除雪車



雪で狭くなった道路の幅を広げる作業や運搬トラックへの積み込みに使用します。前面のオーガを高速で回転させ雪を破碎し、ブロワにより雪を巻き上げシュートから投雪します。

全長L=7.95m、全幅W=2.60m、全高H=3.58m 価格 約3,200万円

小形ロータリ除雪車



主に歩道の除雪に使用します。構造的には大型ロータリ除雪車と同様で、前面のオーガで雪を破碎し、ブロワにより雪を巻き上げシュートから投雪します。

全長L=5.78m、全幅W=1.50m、全高H=2.78m 価格 約2,300万円

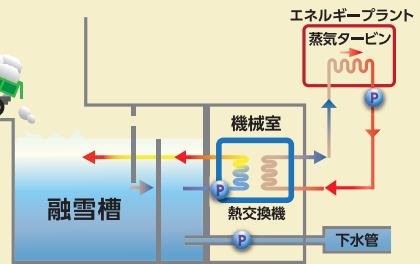
Q&A

Q.雪を融かす施設があるんですか?

A. 雪堆積場の確保が年々難しくなってきたり、郊外化していることから、雪堆積場を補完する施設として、融雪施設が市内12箇所に設置されています。雪を融かす熱源は下水道処理水・未処理水やエネルギープラントの熱を利用しています。札幌駅北口バス乗り場にも「都心北融雪槽」が設置されており、バスの運行が終了した夜間に投雪し雪を融かしています。また春には水槽に雪を残して近くの大型商業施設にあるコンピュータの冷房として利用し、夏には災害時の防火用水槽として活用しています。



都心北融雪槽の仕組み



投雪状況



指導案や教材などを今後、随時ダウンロードできるように準備しています。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

札幌雪学習

検索

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX:011-218-5141